

2004.03.12 IODP 部会事務局

日時：平成16年3月12日（金） 10：00～12：20

（10：00～11：15は陸上掘削部会暫定幹事会との合同協議会）

場所：海洋科学技術センター 東京連絡所 セミナー室

出席者：執行部 徳山・荒井・井龍・木村・佐柳・徐・巽

部会長補佐 斎藤 事務局 山川・西川

（陸上掘削部会：木村・浦辺・小村・大塚・木川・笹山）

## 1. 陸上掘削部会との合同協議会

### 【コンソーシアム平成16年度予算案について】

- ・ コンソーシアム事務局より、平成16年度予算案について原案を説明。本案を総会に提案することが認められた。
- ・ 部会予算については、各部会で検討する。

### 【コンソーシアム平成16年度年間活動計画案について】

- ・ 浦辺陸上掘削部会暫定幹事長より、平成16年度陸上掘削部会の活動方針について説明があった。IODP 部会からは、現在検討中である旨の報告があった。
- ・ 今後、部会ごとに活動計画案を作成し、会員総会に提案することが確認された。なお、コンソーシアム全体にかかわる活動（両部会の連携を要する活動）については、今後両部会において調整し、総会に提案できるよう取りまとめる（事務局にて作業）。

### 【規約の改正について】

- ・ コンソーシアム事務局より、コンソーシアム規約の改正案が提案された。会員機関の担当者（いわゆる「コンタクトパーソン」）に関する一部文言の修正をした後、総会に提案することが確認された。

### 【役員の改選について】

- ・ 陸上掘削部会の発足に伴うコンソーシアム執行体制の見直しは、役員の任期が3年であることを考慮し、最低限にとどめることが了解された。また、特に各部会の「枠」は設けないことが確認された。
- ・ 理事会は1機関増員し、防災科学技術研究所を加える方向で調整する。また、産業技術総合研究所地球科学情報研究部門（平成15年度理事機関）については、コンソーシアム担当者について、機関内での調整を要請する。（本件は、陸上掘削部会で検討する。）
- ・ 監査役、AESTO 担当役は、陸上掘削部会発足に伴う交代等を行わないことが確認された。

### 【会員総会について】

- ・ コンソーシアム事務局より、会員総会の議事次第案が提案され、一部微修正ののち、承認された。今後、理事会の承認を求める。(開会の挨拶は、久城会長に依頼する；異 IODP 部会執行部員が対応)
- ・ 議長については、理事機関から選出することが確認された。(北大鈴木氏に依頼する；徳山 IODP 部会長が対応)
- ・ 会計監査については、コンソーシアム会計が(財)地球科学技術総合推進機構の法人内部の特別会計で処理されている観点から、コンソーシアムとしての監査は、コンソーシアムの活動目的に合致する適切な費目、適切な額で執行されているかを主眼に実施し、会員総会で報告する。今後、コンソーシアム事務局が監査役と協議し、総会で報告できるよう対応する。なお、(財)地球科学技術総合推進機構は、必要に応じて、特別会計に関する必要情報を、コンソーシアムに報告・公開できるよう対応検討する。
- ・ 総会終了後、懇談会を開催する。(ホスト：東大海洋研)

### 【地球惑星関連合同大会への対応について】

- ・ 5月に開催される地球惑星関連合同大会に当たり、コンソーシアムでも積極的に参加することが確認された。
- ・ 5月10日(月)夕方に2時間程度の「J-DESC タウンミーティング」を開催する(J-DESC 主催；両部会協同で対応する)。会場は確保済み。
- ・ JAMSTEC/CDEX と J-DESC/IODP 部会の協同で、ブースを出展する。
- ・ 地学教育セッションで講演を行う (IODP 部会)

## 2. IODP 部会執行部会

### 【報告事項】

- ・ 斎藤部会長補佐より、IODP Education and Outreach Workshop (2月20～23日)、地球環境専門部会・地下圏微生物専門部会(3月3日)、科学計測専門部会情報システムワーキンググループ設置検討会(3月4日)、SPPOC SAS WG 事前打合せ(3月5日)、地球内部専門部会(3月6日)、孔内計測ワーキンググループ(3月8日)、SPC・PANCH 事前打合せ(3月10日)の報告があった。
- ・ 木村執行部員より、全国科学館連携協議会での講演(2月22日)等について報告があった。今後、J-DESCとして、各地の科学館への対応が必要であり、今後、総会の報告事項にも加えるなど、会員機関の協力を求めていく。
- ・ 木村執行部員より、SPPOCにおける Conflict of Interest Issue に関する検討状況の報告があった。
- ・ IODP 部会事務局より、「IODP に置ける我が国の科学戦略(1)」の印刷状況が報告された。年度末の国際シンポジウムまでには印刷完了・配布可能の見通し。なお、異執行部員より、英語版の作成状況が説明された(3月15日原稿締め切り)。

#### 【乗船研究者の選出について】

- ・ 本日現在の応募状況・選考状況を事務局より説明。
- ・ Lomonosov 航海 (ACEX) については、選考終了。IO から乗船研究者への通知待ちの段階。
- ・ Juan de Fuca 航海については、乗船研究者の詳細情報を IO へ送付済み。
- ・ これまでの乗船研究者候補の選定作業にあたり問題となったことを踏まえ、応募要綱 (応募フォーム) を見直すことが認められた。荒井執行部員の原案のとおり承認され、今後事務局でホームページの変更などの作業を進めることが確認された。なお、同フォームは、既に応募済みの North Atlantic I, II、Ocean Core Complex I, II の応募者にも提出を求める。
- ・ 斎藤部会長補佐より、co-chief 研究者の選定状況が報告され、現在未定の 2 航海の co-chief 研究者の選定を進めることが確認された。
- ・ 修士課程の学生の乗船について、指導教官 (またはこれに順ずる研究者) の同乗・サポートがあれば乗船を認める方針が確認された。

#### 【予算要求への対応について】

- ・ 異執行部員より、深海掘削委員会に提出予定の、IODP 科学支援体制に関する提言 (案) について、状況説明があった。提言としての取りまとめは先送り、MEXT 預かりとなる模様とのこと。今後も MEXT への働きかけは継続してゆくことが確認された。
- ・ 関連して、平成 16 年度乗船研究者の旅費の確保、平成 17 年度予算要求への対応も引き続き検討してゆくことが確認された。

#### 【国際パネルへの対応について】

- ・ TAP 委員の人選を速やかに済ませることが確認された。

#### 【次年度活動計画について】

- ・ IODP 部会事務局より、会員総会に提出する平成 15 年度活動報告の原案が提示された。今後、体裁等を修正、見やすい形にまとめ直し、執行部に再提出する。
- ・ 平成 16 年度の IODP 部会活動計画案は、斎藤部会長補佐が作成し、執行部に提出する。
- ・ IODP 部会事務局より、平成 16 年度 IODP 部会予算原案が提示され、提案どおり承認された。
- ・ 今後、上記の事項については、会員総会に提案できるよう、作業を進める。

#### 【コンソーシアム広報について】

- ・ IODP 部会事務局より、「IODP 大学&科学館キャンペーン」の準備状況が報告された。九州大学・北九州市立自然史・歴史博物館は、4月16～17日開催で決定。MEXT の後援名義使用申請中である。また、宇都宮大学 (5月)、岡山理科大学 (秋) も、開催に向け作業が進んでいる。また、異執行部員より、島根大学からキャンペーンの誘致の申し出があったことが報告され、対応してゆくことが確認された。
- ・ 3月30日の国際ワークショップ「A new Science Creating by IODP in Asian Waters」の準備状況が報告された。現在プログラムが確定し、MEXT 後援名義使用申

請中である。シンポジウムの開催にあたっては、コンソーシアム会員に広く参加を呼びかける。なお、ワークショップ終了後、JAMSTEC 深海研究部主催の懇親会を開催する予定とのこと。

- ・ 4月1～2日にIODP ビジネスミーティング（日・中・韓・台湾の研究者が参加予定）をJ-DESCホストで開催することが確認された。この際、高知大のコアレポジトリー、IODP インフォメーションサービスセンター、IODP 出版業務等について、アジアの研究コミュニティの観点で、何らかの意思表示のできるよう働きかけをして行くことが確認された。

#### 【その他】

- ・ 国際ワークショップの開催、IODPにおける我が国の科学戦略の発行など、これまでも協力して我が国におけるIODPの科学推進を進めてきた、海洋科学技術センター深海地球ドリリング計画推進室との連携をより強化し、相互での情報・意見交換を図るため、執行部のメーリングリストに、深海地球ドリリング計画推進室の担当者を加え、情報交換を密にしてゆくことが確認された。
- ・ 会費未納機関（4機関）に、コンソーシアム会長名による督促状を発送し、年度内の会費の納入を促す。

以上